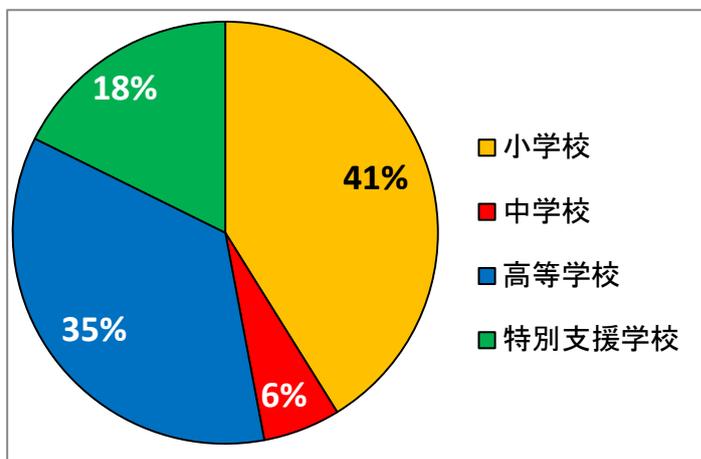


教員免許状更新講習（兵庫教育大学） アンケート集計結果  
 (7/27『知っておきたい！地図の作り方から使い方』、関西支部回収分)

1. 参加者の特徴

(1) 学校種別

学校種別	回答数
小学校	7
中学校	1
高等学校	6
特別支援学校	3
無記入	0

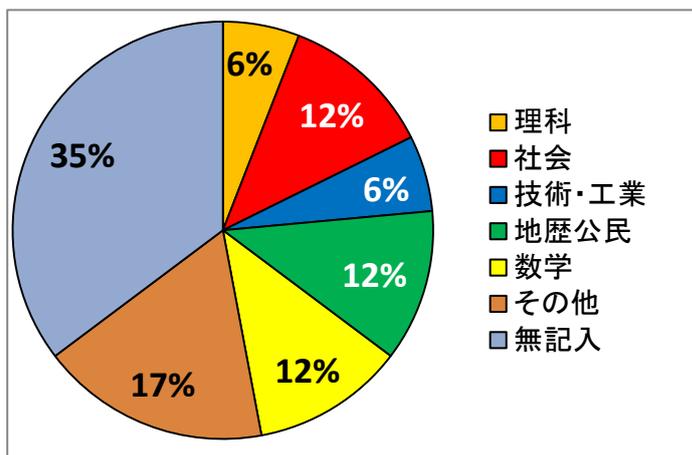


(2) 職名

教諭	15
講師	2
学校事務職員	0

(3) 担当教科等

理科	1
社会	2
技術・工業	1
地歴公民	2
数学	2
その他	3
無記入	6

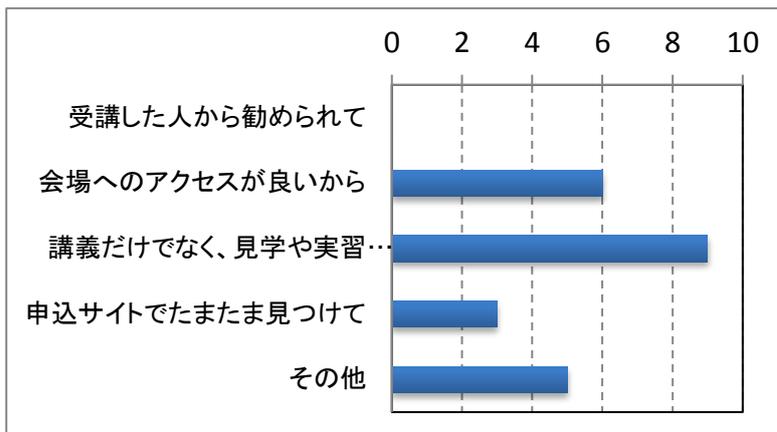


その他

体育、商業、作業

## 2. 講習を選んだ理由

受講した人から勧められて	0
会場へのアクセスが良いから	6
講義だけでなく、 見学や実習などがあるから	9
申込サイトで たまたま見つけて	3



- 地図に対して興味があったから。
- 地図の作り方や使い方に興味があったから。
- 内容が面白そうだったから。
- 社会科の学習に役立つと思ったから。
- 現場で使えると思ったので。地図についての関心も強かったので。(国土地理院の方が講師に来られると知って)
- 地形図を見るのが好きなので。

## 3. 講習内容で評価できること (理解できることなど)

- いろんな技術が身につけられてよかった。
- 国土地理院の地図の利用の仕方がよく分かった。細かい機能の使い方など、直接お話を聞いて良かった。
- 地形図は子供たちからも嫌がられるので、面白く分かりやすかったです。
- 地図といっても様々な種類があり誰かが作ったものを見つけるものだと思っていたが、自分でカスタマイズできることが分かりました。
- 演習があること。(実際にできる)
- 実習を通して等高線や歩測の大切さを実感できました。
- 実際に地理院のソフトの使い方を学べたこと。
- 防災マップの大切さについて学ぶことができました。
- 国土地理院の地図で色んな地図が作れることが分かりました。(GIS) 等高線の学習について、透明のフタを利用するととても分かりやすいと思いました。断面図を描かせるよりも良いです。
- ハザードマップの作り方。(生徒の通学路、自分の通勤路)
- 実際の生活に関係している内容なので、授業の一環として活用できる内容であった。
- ワークが多い。
- 地図の活用方法。
- 地理院地図を初めて知り、便利さを知ることができた。

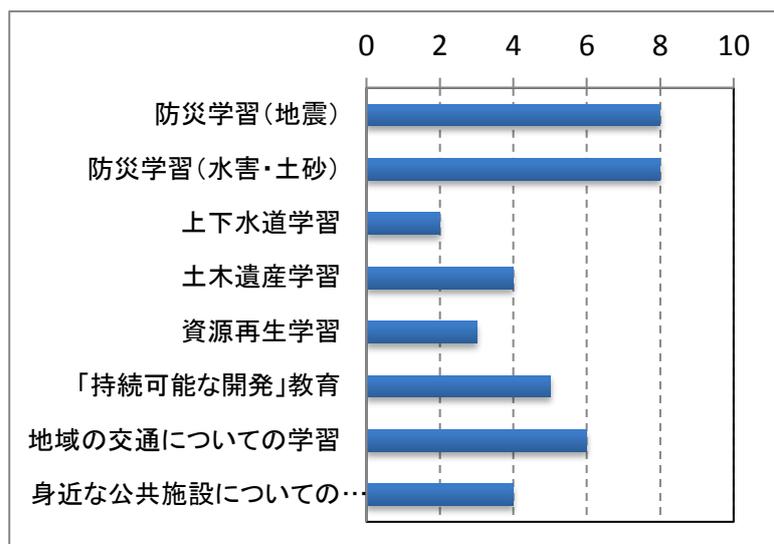
- 実習があり、また普段から興味があったこと等を知ることができてよかった。地理院の地図がこんなに使えるなんて知らなかったのでどんどん活用したい。
- 実習で国土地理院の地図のいろいろな使い方を教えていただいたのが良かったです。等高線の理解でふたを使って作るのも楽しかったです。
- 子どもに使える教材作り。ハザードマップの作り方、使った後の活用法。

#### 4. 内容で改善すべきこと（わかりにくかったことなど）

- 説明の時は同じ場所でまずやってから、自分のやりたい場所について調べるという方法をとってほしかった。
- ホームページの画面が毎年変化しているので Web 上で説明がよい。
- 画面を指し示すカーソルが白くて分かりにくかったです。
- PC の扱いが少し速かった。
- わからない時はすぐに教えていただいて助かりました。

#### 5. 今後受けてみたい講習内容

防災学習(地震)	8
防災学習(水害・土砂)	8
上下水道学習	2
土木遺産学習	4
資源再生学習	3
「持続可能な開発」教育	5
地域の交通についての学習	6
身近な公共施設についての学習	4



具体的にあれば教えてください。

- もっと本格的な立体地図を作ってみたい。国土地理院の地図を使った演習をもっと増やしてほしい。
- 歩測とかは小学校の算数や社会などにも使えそうだと思います。その内容を詳しく知りたいです。
- 防災マップの中でも一番危険な場所はどこな地形からなるのか。
- 地図データの具体的な活用方法。
- ゴミ処理施設、浄水場や河川の状況をモニターチェックしているようなところ、ポータライナーや神戸空港。今はやりの工場見学よりももう少し知的な好奇心をくすぐるようなものをしてほしい。
- 障害のある人に関わっていることもあり、交通手段に関して障害や老人に対するどのような配慮があるのかということ、電車、バス、道路、空港について教えていただきたいです。

6. 「土木」についてどう思っていましたか？また、この講習を受講して変わりましたか？

- 道路や橋などを作る技術のこと。
- 幅広く活動をされていることを今知りました。学校でも使えそうなので使用します。ありがとうございました。コースターとっても良かったです。他のものも欲しいです。
- 自分とは離れている印象があったが地図などはとても身近だし緻密な世界だと感じました。
- 生活とのつながりを感じました。
- 地域の方々と共に防災マップを作成することはとても意義があるので、これから土木について意識していきたいと思いました。
- 社会科だけでなく、様々な教科につながるのだなと感じた。
- 建物のことであると思っていたが、災害とつながっていることが理解できた。
- 土木というのは肉体労働のイメージが強かったですが、最新技術を生かす知的な面を持つと感じました。
- 建造物の基礎部となる大切なもの。やっぱり大切なものだと再認識しました。
- 身近なことなのに意識の足りていなかった。この講習を受講して身近なことに対する意識付けが変わりました。（災害時の自助、共助について）
- 地理と土木の関係に初めて気付いた。
- 建設現場が中心のように感じていましたが、多岐にわたる分野があることがわかりました。
- インフラ設備のイメージ。しかし、もっと幅が広くて生活に密着していることが伝わってきてもっと知りたいと思った。
- 昨今、自然災害が増えてきているので土木の大切さはすごく感じていました。安全を守るためにハザードマップを活かしたいし、なければ作っていく必要を感じました。
- 初めて知る事が多く、興味が出てきました。